

結城南中学校区新設校 基本構想・基本計画 中間報告

基本構想・基本計画策定の目的等

児童生徒数の減少により、小・中学校の小規模化が進行しているなか、結城市立小・中学校を集団生活の中で豊かな人間関係を築いていく場とするとともに、快適な教育環境の整備に努め、特色のある魅力的な学校とすることを旨として、学校再編の取組を進めています。

令和4年1月
結城市学校
適正配置等
に関する提言書

令和3年1月に設置された「結城市学校適正配置等検討委員会」において「学校規模の適正化」、「小中一貫教育の推進」をテーマに協議を重ね、10年後の結城市立小・中学校の在り方についての提言書が提出されました。

令和4年3月

結城市学校
適正配置等
に関する方針

提言を基に、次の具体的な内容を示しました。

- ・結城南中学校区にある絹川小学校、江川北小学校、江川南小学校、山川小学校、上山川小学校の5校を1校に統合します。
- ・新設小学校は、小中一貫教育を推進するため、施設一体型又は施設隣接型の小中一貫校とし、結城南中学校の敷地内又は隣接地に設置します。

令和4年度

基本構想
基本計画

基本構想・基本計画は、学校の設計・工事を進める上での基本的な考え方や指針を示すものであり、学校の規模や求められる機能等、学校整備に関する基本的な考え方を定めます。

- ・地元自治会、各学校の保護者や関係者等で構成する「結城南中学校区新設校推進委員会」において、住民意向を把握しつつ、基本構想・基本計画の策定に向けて検討を進めています。

令和5・6年度

基本設計
実施設計

基本設計では、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、建物内外のデザイン等を基本設計図書としてまとめます。

実施設計では、基本設計図書に基づき、安全安心な工事施工を考慮した上で、機能性やデザイン性、技術面など多方面にわたって精査し、より詳細な設計図書としてまとめます。

令和7・8年度

建設工事

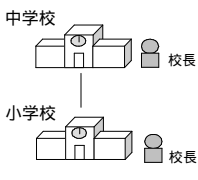
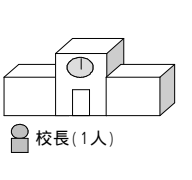
令和9年4月

新設小学校開校

目指す学校のカタチ

「結城市学校適正配置等に関する方針」で未決定となっていた新設小学校の「学校種」及び「施設の配置・構成」については、結城南中学校区新設校推進委員会において協議し、次のとおり方向性を決めました。


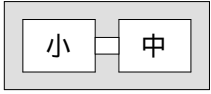
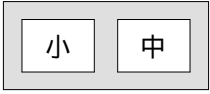
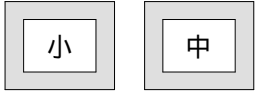
(1) 学校種

小中一貫型小学校（6年制）・中学校（3年制）		義務教育学校（9年制）	
	小学校校長1人、中学校校長1人		校長1人
	養護教諭等はそれぞれの学校に配置		養護教諭等は1人になる可能性あり
	児童生徒支援加配教員はそれぞれの学校に配置（ ）		児童生徒支援加配教員は1人（ ）
5校の小学校が一緒になり、結城南中学校はそのままになります。環境の変化による不安感を持つ児童の心のケアを第一に考えます。		5校の小学校と結城南中学校が一緒になるので、小学生の心のケアだけでなく受験を控える中学生にとっても精神的な不安や負担に対する対応が求められます。	

() 加配教員は必ず配置されるわけではありません。

義務教育学校ではなく、「小中一貫型小学校・中学校」とします。

(2) 施設の配置・構成

小学校の場所	結城南中学校敷地内とした場合			隣接地とした場合
分類	小学校建設時に中学校を含めた校舎として施設一体型で新設	小学校と中学校を渡り廊下で接続	小学校と中学校を隣接して設置	小学校と中学校を分離して設置
イメージ図				
メリット	・中学校まで含めた小中一貫校の校舎建設が可能	・小中学校の連携が容易	・新設小学校としての計画に特化して対応可能	・新設小学校としての計画に特化して対応可能
デメリット	・耐用年数の残る中学校の活用検討が必要	・中学校の一部改修が必要になる	・小中学校の連携の検討が必要	・小中一貫教育の特性が生かしづらい ・学校用地の確保が必要になる
運営面	・施設が一体であり調整事項は多大となる	・新設小学校としての運営調整を先行し、段階を追って小中連携調整を図ることも可能	・新設小学校としての運営調整を先行し、段階を追って小中連携調整を図ることも可能	・小学校と中学校が分離しているため、移動にかかる時間を要するので児童生徒や教員同志の交流が図りづらい
総合判定	現結城南中学校が活用できず調整事項が多大となる △	新設小学校としての施設面、小中一貫教育面でも最もメリットが多い ◎	左記より渡り廊下分若干コスト減となるが、小中一貫教育面では利便性に欠ける ○	学校用地の確保に時間とコストを要するほか、小中一貫教育面では利便性に欠ける △

小学校と中学校とを渡り廊下で接続する敷地内施設一体型にすることで、小中教員の交流を活発にし、中学校の教員が小学校の音楽や英語などの授業を専科教員として行ったり、小学校の教員が学習につまずいている生徒への補習を行ったりするなど、児童生徒の学びをより確かなものにして、保障することができます。

児童生徒の交流により、総合的な学習の時間などにおいて児童生徒が協力して調査・研究を実施し、学年段階に応じてより幅広く深い知識を得ることで、大きな成果や相乗効果が期待できると考えております。さらに小学校、中学校という枠組みを超えて異学年が交流し、お互いを尊重したり、認め合ったりして相手を思いやり助け合うことができ、豊かな心の育成につながったという好事例も数多く報告されています。



結城南中学校の敷地内に配置し、小学校と中学校を渡り廊下で接続する施設一体型とします。



Q1 小学生と中学生が一緒にグラウンドを使うことになるので狭いのではないのでしょうか？

学校に必要なグラウンドの面積は文部科学省基準で定められており、想定児童生徒数では小学校が4,720㎡、中学校が4,150㎡であり、合計8,870㎡以上の面積が必要になります。結城南中学校の敷地内に校舎を建設することでグラウンドが今より狭くなりますが、27,000㎡ほどの面積が確保される見込みで、これは基準の約3倍の面積となるため他の学校と比較しても十分な広さになります。



Q2 体育の授業でグラウンドを使う場合、小学生と中学生とが競合したり、どちらかの活動が制限されたりしませんか？

中学校体育館とは別に小学校体育館を新設する計画もありますので、競合や活動の制限が無いように、調整・工夫することで、児童生徒の安全を確保しつつ同時に実施することも十分可能です。



Q3 グラウンドで部活動を行う際、小学生が立ち入ったりして危険ではないですか？部活動を自由にできないなどの制限があるのではないですか？

グラウンドの使用法や時間について共通のルールを定めることで、部活動への影響は少ないと考えています。一方で、小学校高学年の児童にとっては中学校部活動を身近に感じることができ、希望すれば練習に参加することも考えられます。子どもたちの自主性や能力を早期に引き出す可能性についても期待できます。



Q4 学校敷地内の駐車場不足や雨天時のお迎えの渋滞が懸念されませんか？

新設小学校の建設に併せて駐車場を整備するとともに、現在の結城南中学校の臨時駐車場の運用を参考に、保護者等の来校の際に支障のないように対策を講じます。



新設小学校の基本構想

(1) 目指す教育方針(結城市学校教育グランドデザインから)

(2) 施設のコンセプト

基本施策：地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育

9年間を見通した
特色あるカリキュラムの
編成と実践



連続性・系統性のある
指導による安心して
学べる学校づくり

- 1 安全で快適な学校生活環境の創出
- 2 多様な学習形態に対応した空間
- 3 小中一貫教育のための中学校との連携
- 4 ユニバーサルデザインに配慮した環境
- 5 地球環境・景観への配慮 (SDGs)

知・徳・体のバランスのとれた社会人の基礎を養う

郷土を愛する『人財』を育成するための学校を核とした
地域資源を生かす特色ある教育活動の充実

グローバル社会で活躍する『人財』を育成するための
外国語活動と英語科の充実

常に変化する社会において広い視野に立ち、主体的に
行動できる『人財』を育成するためのICT環境の充実

(3) 新設小学校の整備の考え方

現在の結城南中学校の校舎は令和4年時点で築50年近く経過しているため、仮に小学生も使えるように必要な改修を加えて利用したとしても、その後に耐用年数を迎える頃には校舎の建替えが必要になります。

よって最も経済的で、かつ、効率的な施設整備として、現結城南中学校校舎は中学生のみが継続利用し、新設小学校は単独で計画することとします。

新設小学校の基本計画

(1) 配置計画

結城南中学校の継続利用を条件とし、新設小学校の配置は下記の理由により西側配置とします。

小学校と中学校との連携が容易

北西からの季節風を校舎で防御し、良好なグラウンド環境の確保が可能

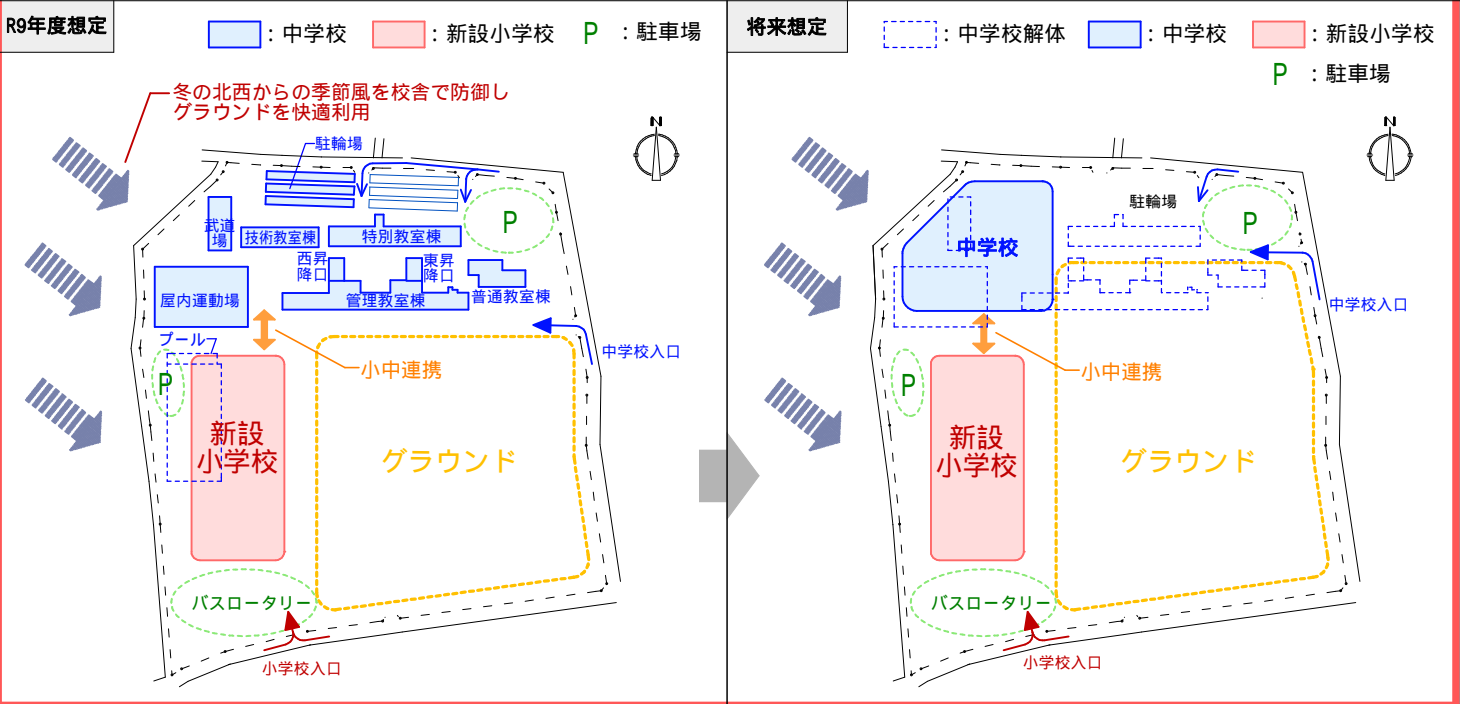
将来的な中学校建替えにあたり、良好な学習環境の確保に有利な配置が可能

新設小学校(令和4年度試算)

令和9年度の児童数
472人

教室数
普通教室 15学級
特別支援教室 9学級

新設小学校 西側配置案



参考：現結城南中学校の概要(令和4年度)

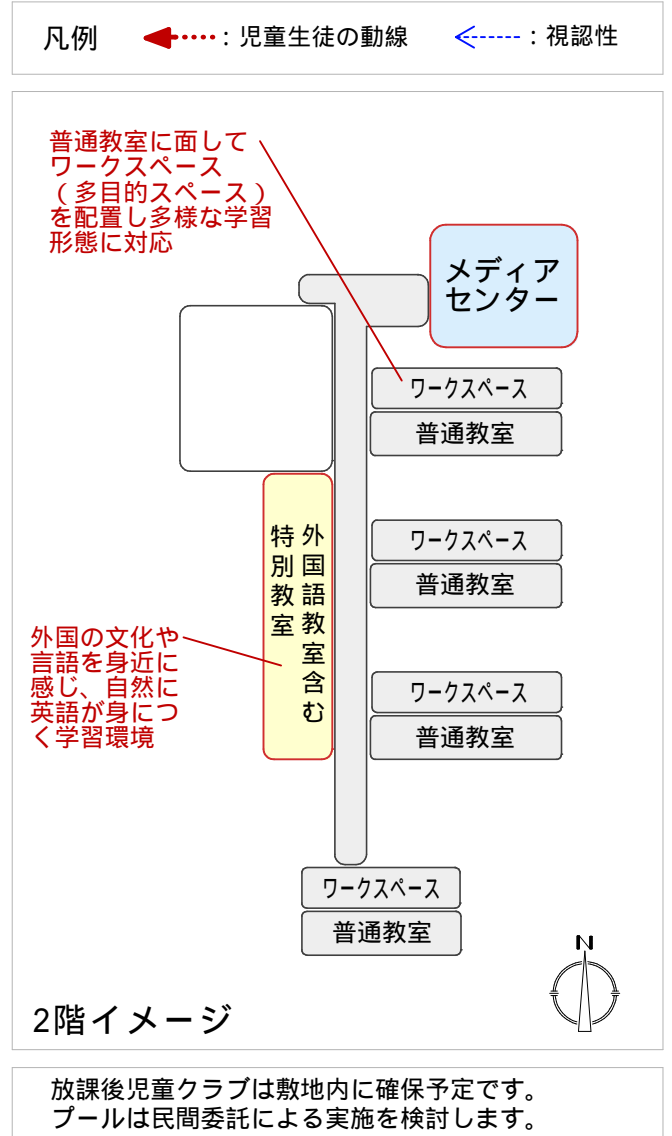
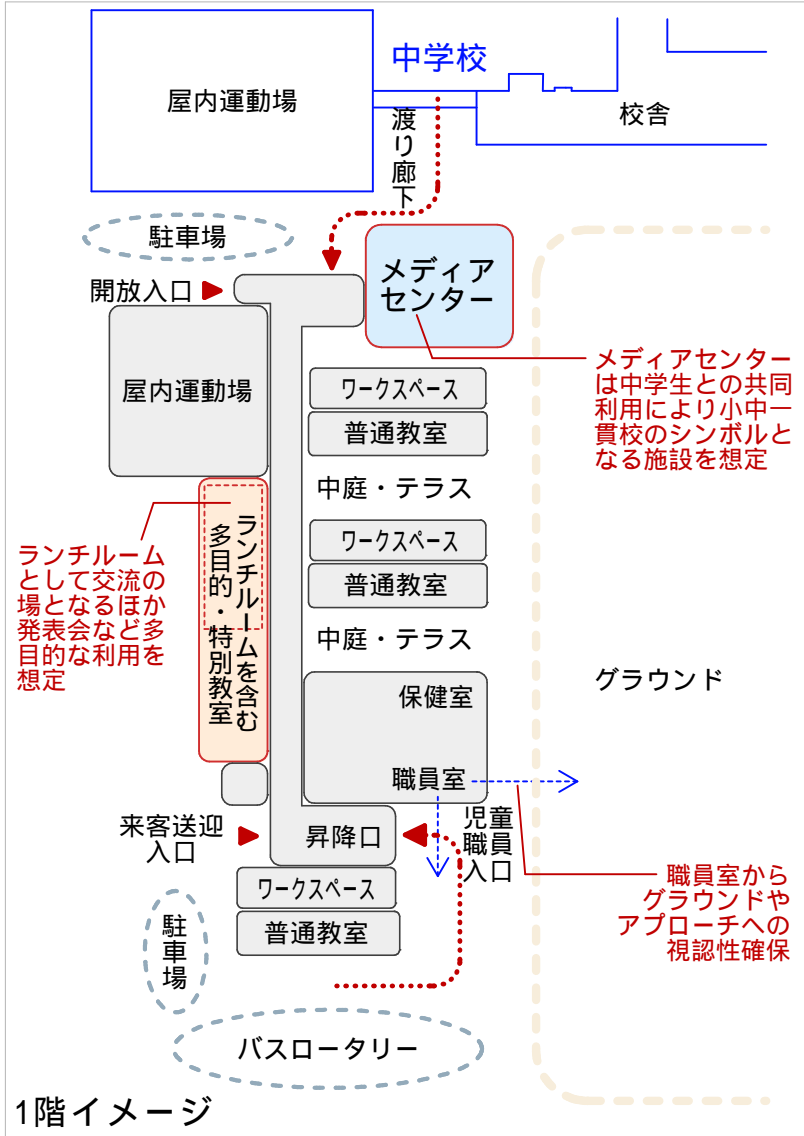
普通教室	9学級	敷地面積	65,657.25㎡
特別支援教室	5学級	建築面積(中学校)	7,286.95㎡
特別教室12室、屋内運動場、武道場等		延床面積(中学校)	12,632.19㎡

(2) 平面計画

目指す教育方針(グランドデザイン)を考慮し、下記のような点に配慮した計画とします。

- ・農産物などの地域資源を生かした食育活動や中学生との食を通じた交流ができる多目的教室(ランチルーム)を整備します。
- ・ALTや英語専門指導員などと連携し、英語での活発なコミュニケーション活動や国際教育ができる特別教室を整備します。
- ・プログラミング教育の実践や児童生徒、教員、地域ボランティアなどの交流を促進するため教育活動の拠点としてメディアセンターを整備します。

平面計画のイメージ図



ここに示す平面計画の内容は、現段階の案であり具体的な設計時に詳細な検討を行います。

開校までのスケジュール(案)

	R5年度												R6年度												R7年度												R8年度												R9年度					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
設計	基本設計・実施設計												実施設計																																									
	敷地測量												地盤調査																																									
工事	新設小学校建設工事																								建物工事 外構工事												校舎引渡 外構竣工																	
																									施工者選定																													

問合せ先

結城市教育委員会 学校教育課 学校再編係

TEL : 0296-34-0376 FAX : 0296-32-1999 e-mail : school@city.yuki.lg.jp